

家庭

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
家 庭	地域共創実習	2	3年次・L2	選 択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
読み聞かせわくわくハンドブック （一声社）				・地域共創系列

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
地域に伝わる民話や偉人について学び、郷土への愛着を深めるとともに、絵本製作や読み聞かせ活動を通して地域の人々と交流し、地域に貢献する態度を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
地域に伝わる民話について理解を深めるとともに、読み聞かせに関する技能を身に付ける。	地域の課題を発見し解決する能力を身に付ける。	絵本製作や読み聞かせ活動を通して地域の人々と交流し、地域に貢献する態度を身に付ける。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期		地域の民話学習 （１）角野の民話と伝説を知る	4	・「生子山城落城秘話」「大永山六地藏と山女郎」「瑞応寺と銀杏」など、地域に伝わる民話や伝説を学ぶ。 ・手作り絵本「つばきの木は見ていた」や「鷲尾勘解治ものがたり」など、絵本を通してふるさとの誇りの継承について考える。 ・絵本の持ち方、めくり方、読み方等について学び、読み聞かせを実践する。	1 2 3
			（２）ふるさとの偉人伝	5		1 2 3
			読み聞かせ 1 （１）読み聞かせの学習	6		1 3
			（２）読み聞かせの練習	7		1 3
			（３）読み聞かせの実践			1 2 3
	2 学 期		絵本・紙芝居作り （１）よい絵本とは （２）テーマ決定とストーリーの作成	9	・広く読み継がれている絵本を読み、子どもの心を豊かに育む絵本とはどういうものかを考える。 ・対象児を絞ってテーマを決定し、リズムがある美しい日本語や効果的な繰り返しを取り入れた魅力的なストーリーを考える。 ・ストーリーと絵が調和したレイアウトを考え、画材 や配色を工夫して絵本を完成させる。 ・手作り絵本によるおはなし会を企画し、実践する。	1 3
			（３）絵本・紙芝居の製作	10		1 2 3
				11		
				12		2 3
3 学 期				読み聞かせ 2 （１）おはなし会の準備 （２）おはなし会の実践		1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度	
	規 準	○地域学習の意義を理解し、郷土の偉人や文化についての知識を身に付けているか。 ○よい絵本について考え、対象児に適した絵本を工夫して製作しているか。		○地域の課題について考え、その解決策を見出すことができるか。		○地域の民話や文化について関心を持ち、意欲的に取り組んでいるか。 ○制作活動において、主体的かつ協働的に取り組むことができるか。

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	手段	・レポート、ワークシートの記述 ・実習状況の観察 ・作品	・レポート、ワークシートの記述	・授業、実習態度の観察 ・提出物の提出状況
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法	・製作した作品を評価する。 ・授業や実習に取り組む態度、提出物の状況、実技の習得状況も評価に含む。		
学習上の留意点	・授業への出席や授業態度、発表、ノートや課題の提出などの平常点が重視される。 ・体験学習は、事前の計画・事後の反省・感想などの提出物がある。 ・提出物は期限を守って提出すること。 ・体験学習のための実習代や校外学習が必要となることもある。			